

事業所名

supportroomぱある

支援プログラム (放課後等デイサービス)

作成日

令和7年

3月

1日

法人の想い

ぱある (PA-L) は、Piece (ひとつ・個性) とLink (つながり) から派生しており、ノーマライゼーション^{※1}の考えのもと

- 子どもたちも職員も唯一無二の存在であり、地域のなかで「ひかり、輝いて欲しい」
- この世の中もいいもんだなと「地域」を通じて感じる

※1 ノーマライゼーション：障害者はあたりまえの、普通の、生活を送る権利があり、その生活を支える社会を構築すること (福祉用語のひとつ)

支援方針

- 子どもたち、一人一人の"らしさ"を育む支援を柱に、子どもたちの姿を適切捉え、心身の成長を促します
- 「ただいま～！」と我が家のような安心感や心身の充足を感じれる環境づくりと関わりを大切に支援を実施します
- 「またあしたね！」「また次ね」と次 (家庭、翌日等) につながる支援を心がけて行います

学校日

下校時

から

16時

45分
まで

延長

あり (要相談)

送迎

場所によって要相談

支援内容

健康・生活

*事業所の「考え」と「ねらい」

「健康」は日々の過ごしの中での基礎であり、欠かせないものである。また、「生活」は勉強や趣味・遊び活動を遂行する上で土台となるものと位置付けており、子どもたちの成長発達過程の上で重要である。当事業所では、日々の健康状態の把握と共に、リズム形成や状況に合わせた環境設定を行い、負担を第一に考えた、安心して安全な過ごしを保全することを大切にしている。また、基本的な生活スキル (食事・排泄・着替え・整容) の獲得や応用動作の習得を目指すことで、生活行為として生活に取り入れられるように支援を構成することとしている。

*以下に主となる支援内容を記載する

- ・状態観察 (検温、外傷、表情等) の実施
- ・感染予防策の実施 (手洗い・うがい・手指消毒等の促しや見守りを含む介助)
- ・基礎的な生活行為への援助 (食事・排泄・着替え等)
- ・日常生活リズムの形成、維持への援助
- ・基本的な生活動作の獲得、環境設定 etc.

	運動・感覚	<p>* 事業所の「考え」と「ねらい」</p> <p>日常生活を遂行していく上で、<u>基本的運動能力の獲得や基礎感覚の発達</u>は欠かせない。運動や感覚を直接的に促すことと同時に、補助的な手段の提案や活用を合わせることで、向上を図ることを考えて支援を行う。作業療法士の専門的支援からの助言を中心に<u>生活能力・行為に密着した支援</u>を行うことを意識している。</p> <p>* 以下に主となる支援内容を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に遊び・活動を通した支援 ・ 運動遊びを通した粗大運動、微細運動の獲得、向上 ・ 複合的感覚の統合 ・ 複合的運動の獲得、向上 ・ 姿勢の保持、変換への運動援助 ・ 基礎感覚の発達の促し ・ 運動学習の促進やボディイメージの習得 etc.
本人支援	認知・行動	<p>* 事業所の「考え」と「ねらい」</p> <p>「認知」は、感覚的/知覚的に入力して情報の意味や概念を認識する高度な物であり、認知を行うためには、<u>様々な経験や学習によって蓄えられたものとの結びつき</u>が必要である。それが、「行動」につながり、より複雑/複合的な行動パターンの獲得につながる。したがって、子に合わせた、<u>様々な経験の提供や意味理解の場面の設定</u>を行い、最終的には高度な能力（集中力、自己統制、自身、抽象的思考等）の獲得を目指していくための支援を構成することとしている。</p> <p>* 以下に主となる支援内容を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的に遊び・活動を通した支援 ・ 物の意味の理解（固有名詞、動詞） ・ 概念の理解（数、色、音 等） ・ 弁別機能の獲得（大小、強弱、高低等） ・ 組み合わせ/マッチング ・ 知覚への支援（視知覚、目と手の協調性等） ・ 計画やスケジュール、見通しの理解への支援
	言語コミュニケーション	<p>* 事業所の「考え」と「ねらい」</p> <p>「コミュニケーション」には<u>言語コミュニケーション</u>と<u>非言語コミュニケーション</u>がありコミュニケーションは多様であるという考えを元に、子どもの特性に合わせて、言語⇔非言語の比重を調整し、「かかわり/やりとり」の密な機会を持つ支援を構成することとしている。また、「<u>表出</u>」「<u>理解</u>」という機能についても言語/非言語の観点から捉えることとし、その子が表出⇔理解しやすい<u>手段を用いる</u>こと第一に考えて支援を行う。</p> <p>* 以下に主となる支援内容を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言語の表出と理解の促し ・ 非言語の表出と理解のうながし ・ 伝達手段（代替手段含む）の獲得と工夫 ・ やりとり機会の充当 etc.

	人間関係 社会性	<p>* 事業所の「考え」と「ねらい」</p> <p>「人間関係」「社会性」の礎には基本的な信頼関係が大切と考えており、<u>アタッチメント（愛着）の形成</u>や職員と関わるうえでの<u>安心感/信頼感を育む</u>ことを大切にしている。また、遊びや活動を通して <u>他者との関わりを持つ</u>ことで、自他の気持ちの理解やそれに伴う行動理解を促し、<u>人間関係の形成を築く</u>支援を行う。また、集団遊びや地域経験を通して社会性の促進を兼ねて支援を行うこととしている。</p> <p>* 以下に主となる支援内容を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着）の形成と信頼関係の構築 ・他者との関わり機会の提供 ・気持ちの受容 ・外活動 ・ルールの理解やルール条件下でのやり取りの機会の提供と援助 ・ソーシャルスキルトレーニングの実施（買い物、資源の活用等）etc.
	家族支援	<p>* 事業所の「考え」と「ねらい」</p> <p>子どもたちの発達や成長には、<u>保護者とのつながり</u>や家庭生活の在り方と密接に関連する。子育ての不安や困りごとへ<u>寄り添い</u>や、<u>気持ちの受容</u>を通し、家族への支援を行う。また、本人だけでなく、<u>兄弟や取り巻く環境</u>においても丁寧に支援を行うことで<u>信頼関係を築く、維持する</u>ことを大切にしている。</p> <p>* 以下に主となる支援内容を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所や訪問による家族面談の実施 ・連絡帳や電話、メール等を利用した様子の共有や相談 ・兄弟支援 etc.
	移行支援	<p>* 事業所の「考え」と「ねらい」</p> <p>地域社会への参加や<u>インクルージョン^{※2}</u>の考え方に基づき、地域（移行先）との<u>情報共有</u>（特性、支援方法や保護者のご意向等）を行うと共に、移行先の選択の上での<u>相談援助</u>をご家族と行い、<u>将来を見据えた移行準備</u>を行っていくことを大切にしている。</p> <p>* 以下の主となる支援内容を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や学童等との情報共有等 ・将来を見据えた移行の選択援助 ・保護者への情報提供 etc. <p>※2 インクルージョン：必要に応じた合理的配慮をお行うことで保育（社会）でありのままのこどもらしさで過ごせるようにすること</p>

<p>地域支援・地域連携</p>	<p>*事業所の「考え」と「ねらい」 地域社会への参加やインクルージョン^{※2}の考え方にに基づき、地域生活を踏まえた支援を実践する必要がある。そのためには福祉に加え、<u>教育/医療/労働/行政等との地域関係の構築</u>が大切であり、<u>横のつながり</u>を大切に実践している。また、ライフステージに沿った切れ目のない相互関係を築くようにしている。更には、<u>地域資源の積極的に利用</u>することで地域社会への参加促進を踏まえた支援を大切にしている。</p> <p>*以下に主となる支援内容を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域施設の利用（屋内遊戯施設、事業所） ・関係機関との連携 etc. 	<p>職員の質の向上</p>	<p>*事業所の「考え」と「ねらい」 職員の質の向上は放課後等デイサービスの提供内容に直結するものであり、知識の研鑽と技術の向上に向けて積極的に参画することが重要である。また日々の支援上では円滑な情報の共有を行う仕組みの構築と再評価が重要である。</p> <p>*以下の主となる取り組みを記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内研修（防災研修、虐待防止研修、身体拘束研修、グループワーク、伝達講習等） ・社外研修（会社指示による研修、個々の興味関心に基づく研修） ・事業所間ディスカッション、グループワーク ・ミーティング（定期）・ケース会議（不定期） etc.
<p>主な行事等</p>	<p>*事業所の「考え」と「ねらい」 特別なことを盛り込んだ支援に置きかず、<u>なるべく「いつもどおり」の支援</u>を基本としている。長期休み等の過ごしに<u>余裕がある時期に、「楽しみを提供する」</u>考えの元、行事を企画している。また、開かれた事業所づくりを継続するために「<u>ぱある交流会（親子兄弟親睦）</u>」を通して交流の機会をつくることで、事業所としての<u>後方的支援</u>を行う。</p> <p>*以下に主となる行事等を記載する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぱある交流会（親子親睦、兄弟親睦、保護者同士親睦目的にて） ・長期休み時の制作やお楽しみ会 etc. 		